

みよちゃん

社協だより 92

令和3年7月発行
御代田町社会福祉協議会

「みよちゃん」は皆様の社協会費、共同募金で発行されています



民生委員の秘かな喜び

柳澤 裕子

私達民生委員の活動の一つに、通学路に立つての見守りと声かけがあります。

私の立つ交差点は、交通量が最も多い通勤時間帯と児童の登校時間帯が重なり、人とクルマの動きが複雑な所で、先を急ぐクルマは赤信号に変わっても尚、スピードを上げて何台も通過して行きます。子ども達自身が気を付けるしかないような状態で、何度も危険を感じました。

見守りを始めた頃は毎朝、腹を立てていたような気がしますが、続けていくうちに、たくさんの人達に支えられている事に、気づかされました。徒歩通勤しながら子ども達に声掛けをしてくださる方。かなり遅れて登校して来る児童の様子を知らせてくださる方。横断し終わるとクルッと向きを変え、ペこりと運転手に礼をする児童。しょんぼり歩いていたのに友達を見つけると、ぱっと目を輝かせて去って行く子。

毎朝、こんな美しい光景を見る事ができて、とても幸せです。新型コロナウイルスのために私達の活動も大きく制限されていますが、最大限感染予防に努めながら、見守りを続けていきたいと思っています。

願わくば、一日も早く、歩車分離の信号機にしていだける事を切望します。

紹介

御代田町ボランティア

地域活動センター（通称ボラセン）

ボラセンとは…

- ボランティアと依頼主を繋げる橋渡し役
- ボランティア活動の機会提供
- おもいを見つけ、繋げていく

一人でも多くの方が、ボランティア地域活動に興味を持って参加できるような情報発信やご相談をさせていただきます。

ボランティアとは…

生活の中で困りごとを抱えている方や、やりたいことが出来ない方も地域の中には暮らしています。一人ひとりが安心して生活するためには、「お互いさま」の關係を持ち、少しずつ安心した生活が送れるような地域にしていくことが重要です。

この「お互いさま」の關係作りができる一つの活動が、ボランティア活動だと思います。

ボランティア活動には、人の温かみを感じる事、ボランティアさんが持つ強みを活かせる事など、様々な影響をしあえる場であり、ボランティアを通して、その人の生活や地域にふれる中で、様々な思いや意識が生まれる場だと感じます。ただ、「してあげる」などの上から目線にならないよう、お互い様の關係にあり続けることが大切になります。

ボラセンの役割

情報発信

ボランティア地域活動情報をHPや掲示板、町や社協広報などいろいろなツールを活用して発信して活動の輪を広げていきます。

相談・調整

ボランティアに関する相談を受け、ボランティアと依頼主が良い關係を維持できるよう調整を行っていきます。

ボラセン室・備品の貸し出し

ボランティア保険窓口

ボランティア活動保険やボランティア行事用保険の加入申し込みの窓口を設けて活動する皆さんの安心・安全を確保します。

ボランティア登録

ボランティア、依頼主には、ボラセンの登録をしていただき、適切な調整を行っていきます。
※登録料は掛かりません

災害ボランティアセンターが 令和3年4月から開設されました

令和3年4月16日に御代田町と「災害時における災害ボランティアセンター設置運営等に関する協定書」を締結し、御代田町災害ボランティアセンターが御代田町社会福祉協議会に設置されました。災害ボランティアセンターは、常設型センターとして、平時から災害に備えるため、啓発活動や災害ボランティア派遣等の各種事業を行っています。万が一災害発生した場合は、災害時体制に移行し、町役場や関係機関と協働して、被災された方へのご相談やご依頼を受けていきます。そして、ボランティアさんと依頼主さんを繋げるなど、復旧や復興のお手伝いをしていきます。

災害ボランティアとは…

地震や台風による被害によって、被災された地域には、怒りや悲しみ、やるせない気持ちなど様々な感情を抱いている方が多くいらっしゃいます。また、生活する中でさまざまな課題を持つ方が過ごされています。その中で、復旧復興に向けて住民の皆様と一緒にお手伝いする活動が災害ボランティア活動になります。泥出し等の力仕事だけでなく、被災された方への心の支援、避難所運営のサポート等もあります。

災害ボランティア事前登録について

万が一の備えとして、災害ボランティアの事前登録を行っています。登録して頂いた方には、災害ボランティアに関する情報提供や研修等の案内を行います。

災害ボランティアセンターの役割

平時

●相談・調整

バスパック（社協が企画するボランティア派遣）を活用して調整します。

●啓発活動・養成研修の企画運営

防災訓練、防災かんたんマップ作成等行います。

●ボランティア登録

●情報発信

災害時

●相談・ニーズの把握

被災された方への相談や声かけを行い、調整を行います。住民の皆様や町役場、関係団体等と協働し、困りごとの発見を行います。

●情報発信

●ボランティア登録

●オリエンテーション・マッチング

●炊き出し備蓄の配布

●物資の貸し出し

募集

倉庫や土蔵に眠っている農具や道具ありませんか？

災害復旧グッズプロジェクト

御代田町ボランティア地域活動センターでは、スコップ、じゅれん等を募集しています。お譲りして頂いた農具や道具は、御代田町災害ボランティアセンターの備品として使用させていただきます。寄付して頂ける道具がありましたら、お問い合わせください。

お問い合わせ

社会福祉法人 御代田町社会福祉協議会 担当：山田翔太・横谷貴大

〒389-0206 北佐久郡御代田町御代田 1772-1

☎ 0267-32-1100

1. 地域福祉事業

- (1) サロン活動支援→ コロナ禍により制限あり
- (2) オレンジカフェ
開催回数：4回 参加人数合計：47人

2. 地区社会福祉協議会

- (1) 活動の支援
 - ＜地区社協活動費＞
各地区社協への助成総額：3,790,040円
 - ＜日赤活動資金交付金＞
各地区への配分総額：384,200円
- (2) 赤い羽根共同募金事業
共同募金配分金額：2,441,350円
- (3) 寄付金
寄付受領数：10件 寄付総額：1,554,800円

3. 支え合いを広げる事業

- (1) ひとり暮らし高齢者向け事業
 - ・おせち料理
食数：32食
 - ・安心コール事業
実施日数：49日 利用延べ人数：395人
総通話時間：1,883分
 - ・むつみ会（交流サロン）
実施回数：5回 参加者延べ人数：93人
- (2) 障がいがある方向け事業（希望の旅事業）
コロナ禍により中止
- (3) ひとり親家庭向け事業
「生活応援パック」の配布：99世帯
- (4) 社会福祉への理解と交流を深める事業
 - ・第35回 ふれあい広場→コロナウイルス対応により中止
 - ・第42回 社会福祉大会
11月28日（土）参加人数：77人
- (5) 子どもの居場所事業→コロナ禍により中止
- (6) 社協広報誌「みよちゃん」の発行
年3回（7月、11月、3月）89号～91号

4. 個を支える事業

- (1) 心配ごと相談
開設日数：33日 延べ相談件数：3件
相談員研修会
2月9日（火）参加人数：40人
- (2) 生活福祉資金貸付事業（県社協受託緊急小口総合支援）
貸付件数：243件
貸付金額：84,790,000円
- (3) 暮らしの資金（御代田町社協独自事業）
貸付件数：4件
貸付金額：400,000円
- (4) 金銭管理・財産保全サービス
延べ利用回数：72回
- (5) 住民参加型有償在宅サービス（ええっこ）
利用回数合計：586回
- (6) ファミリーサポートセンター
支援回数合計：545回
- (7) 生活困窮者自立支援法による相談窓口「まいさぼ」
新規相談者数：33人
- (8) 生活困窮家庭における学習支援（県受託事業）
支援回数：12回
- (9) 「フードバンクみよた」事業
提供数：3,437個（お米、乾麺、お菓子など）
寄付者（団体）数：61人（団体）
配布先：延べ183世帯、8団体
- (10) ワークシェアと居場所事業（県社協事業）
作業回数：延べ33回

5. 支える人の育成事業

- (1) 福祉教育推進事業
実施回数：1回 参加人数：162人
- (2) ボランティア・地域活動の推進
 - ・安心コール事業（たっしゃ会）
 - ・傾聴ボランティア

- ・雪窓公園、龍神の杜公園清掃活動
- ・マスク作成ボランティア（ハンドメイドプロジェクト）
- ・シトラスリボン作成運動に協力
- (3) ボランティア保険への加入促進
- (4) ボランティア・地域活動連絡協議会の協力連携
 - ・ボランティア活動事業助成（共同募金配分金から）
総額：410,000円（11団体）

6. 社会福祉団体との協力・連携

- (1) 社会福祉団体への事業助成（共同募金配分金から）
総額：260,000円（3団体）
- (2) 民生児童委員協議会、町公民館との連携
 - ・コミュニティカフェの設立準備
 - ・春のぽかぽかふれあいマルシェ（プレイベント）

7. 他機関協働実践事業

MIYOTAライ麦ストロープロジェクト

8. 長野県発元気づくり支援金事業

- ボディスパイダー等を活用した地域の人材育成
 - ・健幸教室（10回）参加者数：延べ102人
 - ・T H E 団塊（2回）参加者数：延べ30人

9. 研修、視察、実習等の受け入れ及び参加：13回

各地区サロンへの職員派遣：16回

10. 介護保険事業

- (1) 訪問介護事業
延べ訪問回数：5,822回
- (2) 通所介護事業（ハートピアみよた）
延べ利用者数：9,315人
- (3) 居宅介護支援事業（ケアプラン作成）
延べ作成者数：1,308人
- (4) 宅老所きくちゃん家（認知症対応型通所事業所）
延べ利用者数：1,789人
- (5) サテライト事業所宅老所たっちゃん家
延べ利用者数：2,472人
- (6) グループホームみよた（認知症対応型共同生活介護）
延べ利用者数：2,555人
- (7) グループホームきくちゃん家（認知症対応型共同生活介護）
延べ利用者数：2,760人

11. 障害者総合支援法に基づく事業（ハートピアみよた）

- (1) 居宅介護（自立支援給付、地域支援事業）
延べ訪問回数：2,159回
- (2) 基準該当生活介護（デイサービス事業）
延べ利用者数：286人

12. やまゆり共同作業所

- (1) 地域活動支援センター（町受託事業）
延べ利用者数：1,025人
- (2) 特定相談支援事業・障がい児相談支援事業
延べ利用者数：175人
- (3) 生活介護事業 延べ利用者数：1,052人
- (4) 就労継続支援B型 延べ利用者数：3,275人
- (5) 放課後デイサービス 延べ利用者数：475人

13. 介護予防・地域支援事業（町受託事業）

- (1) 配食サービス事業 延べ食数：4,450食
- (2) 子育て応援ヘルパー派遣事業 延べ利用回数：66回

14. 福祉有償運送事業

延べ利用者数：119人 輸送回数：416回

15. 独自事業

- (1) 家族サポート事業
延べ利用者数：72人 利用回数：333回
- (2) 緊急時お泊りサービス事業 延べ利用回数：124回
- (3) 宅配サービス事業 延べ食数：7,708食
- (4) 預かりサービス 延べ利用者数：57人
- (5) 車イス・リフト車貸出事業
車イス：13回 リフト車：8回

16. 地域福祉センターの運営（町指定管理）

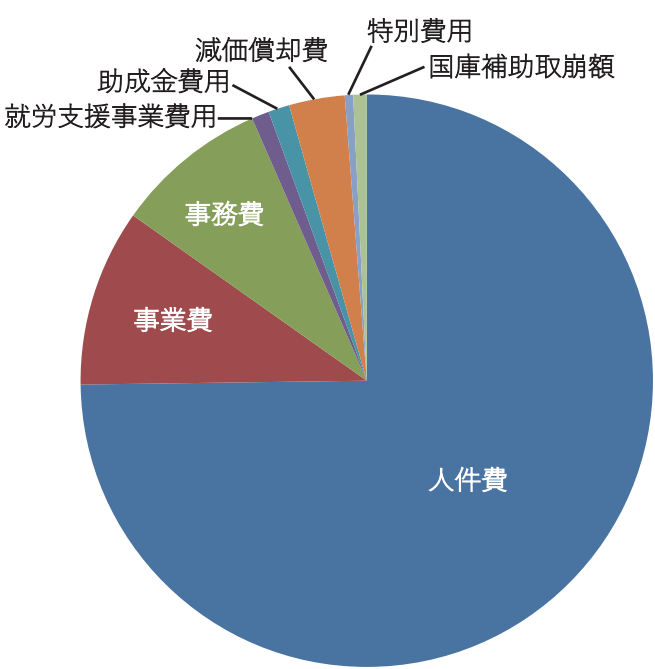
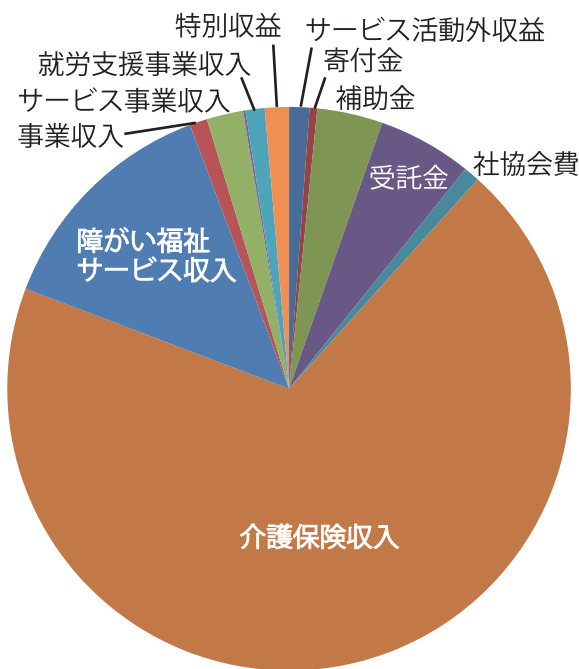
- (1) 一般浴場の運営
開館日数：179日 延べ入浴者数：4,690人

収入

科目	金額	構成比
社協会費	4,136,300	1.16%
寄付金	1,554,800	0.44%
補助金	13,370,266	3.76%
受託金	19,201,604	5.40%
事業収入	3,215,481	0.90%
介護保険収入	245,533,401	69.10%
障がい福祉サービス収入	48,013,400	13.51%
就労支援事業収入	3,569,189	1.00%
サービス事業収入	7,453,367	2.10%
その他	471,494	0.13%
サービス活動外収益	3,909,651	1.10%
特別収益	4,896,966	1.38%
合計	355,325,919	

支出

科目	金額	構成比
人件費	287,260,182	75.49%
事業費	38,448,403	10.10%
事務費	33,209,163	8.73%
就労支援事業費用	3,802,549	1.00%
助成金費用	4,590,040	1.21%
減価償却費	12,081,041	3.17%
国庫補助取崩額	△ 1,799,972	-0.47%
サービス活動外費用	0	0.00%
特別費用	2,922,654	0.77%
合計	380,514,060	



令和2年度は **フードバンクみよた** を立ち上げました



御厚意により、多くの事業者様や個人の方から、数多くの食料物資を頂戴いたしました。
コロナ禍など社会情勢の変化で、日々の生活に困難が生じている方が町内にも多くおられます。
これからも皆様のご支援をよろしくお願いいたします。



詳細はホームページをご覧ください

ファミリーサポート協力会員 養成研修受講生募集！ 15名

御代田町社会福祉協議会では、地域で安心して子育てができるよう、子育てをサポートしてくださる地域の理解者を増やすため、ファミリーサポート協力会員養成研修を実施します。
ご自分のお子さんが大きくなり時間が取れるようになった方や、ご自分のお子さんと一緒に子育てを応援したい方、子どもが大好きな方など、皆で地域の子育てを応援しませんか。皆さんのお力をぜひお貸しください。

- 応募要件：① 御代田町民、勤務地が御代田町内の方
② 働くお父さんお母さんを応援したい
子どもが大好きな方
③ 全講座を受講可能な方

開催場所： ハートピアみよた

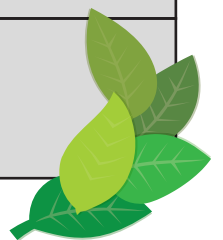
受講料： 2,500 円



日時内容

9月13日(月)	13:00～	開校式
	13:30～15:30	保育の心
9月18日(土)	13:30～15:30	身体の発育と病気
9月25日(土)	13:30～15:30	小児看護の基礎知識 子どもがかかる疾患、対応方法
9月27日(月)	13:30～15:30	子どもの世話 子どもの生活へのケアと援助
10月4日(月)	13:30～15:30	子どもの遊び
10月9日(土)	10:00～12:00	小児看護の基礎知識 子どもの健康
10月18日(月)	13:30～16:30	保育サービスを提供するために
10月25日(月)	13:30～15:30	心の発達とその問題 心の発達と保護者のかかわり
11月1日(月)	13:30～15:30	心の発達とその問題 傷害のある子の預かりについて(あいサポーター研修)
11月8日(月)	13:30～16:30	子どもの普通救急救命
11月15日(月)	13:30～16:30	子どもの栄養と食生活
11月22日(月)	13:30～15:30	安全・事故 事故による子どもの障害
	15:35～	閉講式、修了証書交付

お問合せ： 御代田町社会福祉協議会 福祉係 TEL：0267-32-1100
申込期限： 令和3年8月31日(火)まで



【赤い羽根共同募金助成】

ボランティア地域活動団体及び福祉 関係団体助成金の募集について

御代田町における地域福祉推進のため、昨年実施いたしました、赤い羽根共同募金運動の財源を活用して、ボランティア地域活動団体及び福祉関係団体に対し、助成を行います。

詳しくは、

町社協福祉係（TEL 0267-32-1100）
まで、お問合せください。

令和3年度社協会費のお願い

毎年ご協力を頂いている社協会費については、「人と人とが繋がり支え合う地域づくり」のため、それぞれの区（地区社協）への地域福祉事業費として活用されています。

コロナ禍で不安定な状況が続きますが、本年度についても、ご理解ご協力をいただきますようお願いいたします。

※後日各戸配布されるチラシをご参照ください。

ハートピアみよた（プレイルーム） 一般開放（予約制）について

昨年度に「長野県発元気づくり支援金事業」にて総合筋力トレーニング「ボディスパイダー」を導入し「健幸教室」を実施いたしました。

今後は多くの地域の方々に利用していただくため一般開放日を設けました。

利用内容等についてご確認ください、この機会にご利用ください。

【一般開放日】

日にち：毎週金曜日（令和3年8月～
12月31日は除く）

※ 初回 令和3年8月6日（金）

時 間： 1 部 15：30 から 16：30
2 部 17：00 から 18：00

利用料： 大人・・・500円（入浴代込）
300円（運動のみ）
子供・・・300円（入浴代込）
100円（運動のみ）

※ 子供料金については小学生以下です。

申込み： 以下のネット申込み及び電話
（0267-32-1100 担当：山田翔太）

予約制のため、申込みにてお願いします。
（電話受付：平日8：30から17：00）



社協だより みよちゃん No. 92



発行日：令和3年7月12日

発行者：社会福祉法人 御代田町社会福祉協議会

長野県北佐久郡御代田町御代田 1772 番地 1

TEL：0267-32-1100

FAX：0267-32-1111

WEB：http://miyota-shakyo.sakura.ne.jp/

（編集後記）
本年三月に御代田町役場職員を定年退職し、四月から再任用職員として町社協に派遣され事務局次長と総務福祉係長を兼務しています。
私の祖母は、他界するまで晩年の約二〇年間ずっと在宅で寝たきり生活でしたので、町社協の訪問介護には家族全員、心身ともに随分助けていただきました。この度、縁あって事務局の一員とならせていただきましたので、今後ともよろしくお願いいたします。
さて本号では、昨年度の主な事業と決算の概要を報告いたします。コロナ禍の影響等により各種の事業を休止又は縮小せざるを得なかったため、約二千五百万円という大きな赤字となりました。現時点では高齢者のワクチン接種が進み、新規陽性者数は少なくなってきました。このまま一日も早い収束を願ってやみません。引き続き基本的な感染防止対策を徹底して利用者の皆様をお迎えしておりますので、これまで以上に多くの方々のご利用を心からお待ちしております。（荻原 浩）



龍神の杜公園のゴミ拾い

御代田町社協福祉係 横谷貴大

初めまして。四月に三ツ谷区のきくちゃん家から町社協福祉係へ異動しました横谷貴大です。生まれは、長野市鬼無里（旧上水内郡鬼無里村）で、現在は小田井区に住んでいます。私の主な業務として、ボランティアコーディネーターをしています。不慣れなところも多くありますが、先輩方から教えてもらいながら頑張っていきます。

五月に行われた町ボランティア連絡協議会のゴミ拾いに参加しました。

当日は、和気あいあいとした雰囲気で行われ、新参者の私にも声をかけて下さる方も多くいました。ボランティアや行動することで新たな気づき、また思いを持って仲間と活動する楽しさも見えました。わずかな時間の中で行われましたが、協力し合いゴミを拾うことができ、住民の皆さんが大切に公園を使われている事も知りました。

コロナ禍のサロン開催

ひだまりボランティア 霜田弘子

馬瀬口区の「ひだまり」は子どもから高齢者までどなたでも参加していただける、地域のコミュニティサロンとして月二回ボランティア二十六名が当番制で開催していました。しかし、昨年の新型コロナウイルス感染症が発生してからは開催中止が続き、昨年は四回しか開催できず、今年も一月二月は中止としました。このままコロナの収束までなにもできないのか！中止をすることは簡単だけれどどうしたら開催できるか！せめて月一回ぐらいは感染予防を徹底し開催できないか！など話し合いました。三月は感染レベルも低く町内での感染者も出ておらず、マスクの着用・手指の消毒・検温・飲食なし・時間短縮・三密回避など感染予防をして開催しました。ほほいつものメンバーが集まり、久々に会う皆さんの笑顔にホッとしました。



四月はワクチン接種の予約についての話題が出て不安に思っていることなど情報交換ができたようです。五月からは町内での感染者も出ており中止としました。高齢者のワクチン接種が始まりましたので、安心して集える日が待ち遠しいです。

とくし丸

って、知ってますか？

「とくし丸」は、買い物困難者宅の玄関先まで軽トラで定期的に出向き、食料品や日用品が買える「移動スーパー」



御代田でも精力的に廻って皆助かってます。興味のある方は、090-3672-2943（野口）に電話してご相談ください！

今回のボラ連の活動の様に、コロナ禍でも、人が集まれる工夫や企画を考えていく事がこれから必要だと感じました。また、御代田町内には色々な活動があると聞きます。御代田という地域のことや活動をよく知りたい・参加してみたいと思いますので、お声がけください！

